

# 医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の業務



## 急性期病院

救命救急センター

脳卒中センター

周産期 小児 精神科

がん治療 小児虐待

外来部門 心臓血管治療

総合相談部門 透析

退院支援・地域連携部門

その他さまざまな...



緩和ケアチーム・病棟

回復期リハ病棟

医療療養・障害者病棟

■さまざまな治療場面で  
心理・社会的問題を抱える  
患者・家族や退院困難ケース等を  
担当し援助しています

身元不明・キーパーソン不在／疎遠／高齢  
医療費支払い困難 外国人 自殺企図患者  
治療拒否 虐待 多問題家族  
医療スタッフと信頼関係が構築できない  
退院後の生活が不安  
入院中の生活が不安  
退院計画・退院(転院)援助  
社会保障制度活用  
在宅緩和ケア(看取り) 在宅医療  
入院相談機能  
苦情  
その他

## チームアプローチでSWが 果たす役割と効果とは

### SWの果たす役割

■心理・社会的問題の解決調整

■通訳的役割

患者家族とスタッフの間の理解促進、  
コミュニケーション促進

■権利擁護的役割

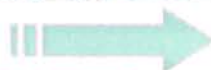
患者・家族の基本的人権を尊重する

■仲介的役割

患者・家族の心理社会的状況の理解と  
スタッフへの伝達

■地域連携（ネットワーキング機能）

患者・家族を取り巻く地域の関係機関を  
つなぐ役割



### SWの関わる効果

■治療と平行した  
生活問題の解決・軽減

■心理・社会的問題の  
予防的支援

■患者・家族が精神的に  
支えられる

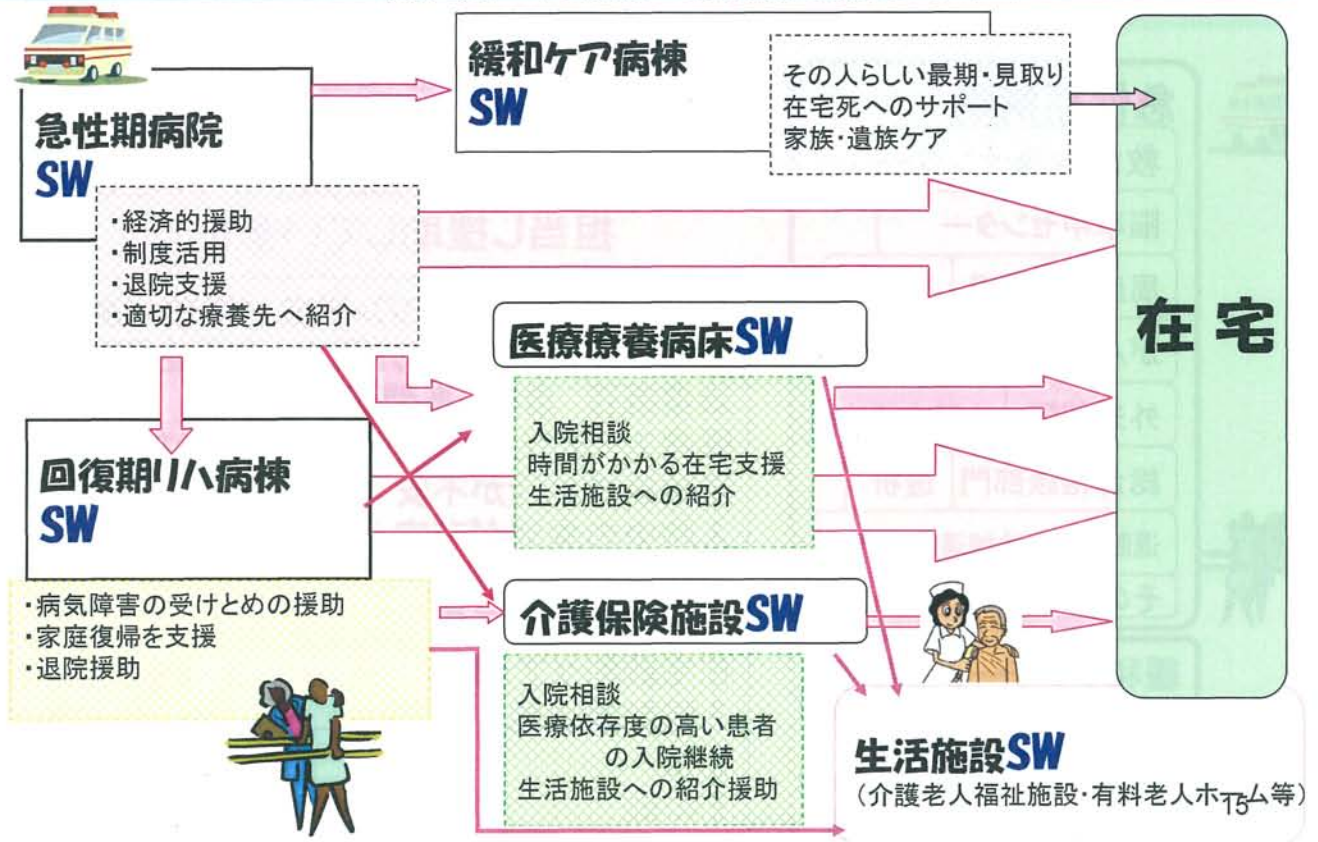
■患者・家族中心の医療  
に近づく

■保健・医療・福祉の連携  
促進



# SWは他病院・施設のSWと連携し、患者の支援を継続します

急性期～回復期～維持期の流れの中で



## チームアプローチのためには ソーシャルワーカーの適切な人員配置が必要です

診療報酬上の配置基準がないため

配置人数は病院によってまちまち...

行える業務も限られたりまちまちになる...

チームメンバーもSWの業務範囲がわからない...

### 診療報酬上の 配置基準を

適正な人員配置案

★急性期病院 100床に1名以上のSWが必要

★療養病床・回復期リハビリ病棟

1病棟1名以上のSWが必要

